



2025 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 内 外 テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岩 井 田 克 郎
(ス タ ン ダ ー ド ・ コ ー ド 3 3 7 4)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 佐 々 木 政 彦
電 話 0 3 - 5 4 3 3 - 1 1 2 3 (代 表)

2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との 差異に関するお知らせ

2025年5月14日に公表しました2026年3月期第2四半期（中間期）（2025年4月1日～2025年9月30日）の連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異 （2025年4月1日～2025年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株 当 た り 中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ） （2025年5月14日発表）	百万円 15,780	百万円 254	百万円 238	百万円 46	円 銭 13.15
今 回 実 績 （ B ）	15,240	487	478	310	88.75
増 減 額 （ B - A ）	△539	233	240	264	—
増 減 率 （ % ）	△3.4	91.9	101.1	575.0	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2025年3月期第2四半期）	16,161	423	403	252	72.28

2. 差異の理由

当社グループが参画しております半導体・半導体製造装置市場におきましては、生成A Iに必要なデータセンター用のA I半導体の設備投資は堅調に推移し市場を牽引したものの、A I以外の自動車用半導体や産業用半導体につきましては、電気自動車（E V）義務化の撤廃や緩和の動きを要因とした量産投資の延期のほか、関税リスクに伴う中国の駆け込み需要の終焉等から、軟調に推移しました。

この結果、当中間連結会計期間の連結業績は、市場の回復が継続しているものの引き続き顧客の在庫調整の影響から、売上高は152億40百万円となり、その実績値は予想値を僅かに下回りましたが、利益につきましては、営業利益4億87百万円、経常利益4億78百万円、親会社株主に帰属する中間純利益3億10百万円となり、各段階利益の実績値は予想値を上回りました。

以 上